



営業企画部
やぶた しずか
藪田 静香

証券会社、キッズパーク、そして物流業界へ。一見、脈絡のないキャリアパスに見られがちだが、その根底には「人と深く関わり、その人の役に立ちたい」という揺るぎない思いがあった。かつて感じた、お客様に対する「心苦しさ」や、「このままで良いのだろうか」という葛藤。それを打ち消してくれたのは、求人検索中に偶然見た株式会社物研の社内報だった。未経験の壁を乗り越え、自分らしい営業の形を追い求める藪田静香の挑戦に迫る。

人と関わりたい、 その想いを胸に続けた 挑戦の日々

学生時代から一貫して「人と関わる仕事」を軸にキャリアを築いてきた藪田。証券会社の営業として社会人の一歩を踏み出し、その後も子ども向けの遊び場の運営など、興味を惹かれる分野へ次々と挑戦した。誰かのために動くことに喜びを感じる価値観が、藪田を様々な現場へと導いたのだ。

しかし、その道は平坦ではなかった。特に証券会社時代は、お客様が望ま

ない商品を「お願いして買ってもらう」営業スタイルに強い心苦しさを感じた。心からの提案ができない状況に葛藤し、「このままで良いのだろうか」という問いが常に心の片隅にあったという。

社内報が拓いた、 新しいキャリアへの扉

転機は偶然訪れる。自宅近くの勤務先を探していたとき、公共職業安定所で「物研」の名が目にとまった。その流れで何気なく開いたウェブサイトには、社内報も掲載されていた。活字好きの藪田は、社員の顔が見える温かい内容と活気ある雰囲気の中に、バックナンバーのほとんどに目を通したという。そこには、多くの女性が活躍する姿があり、物流業界への「男性中心」というイメージが覆った。さらに、「古い営業はもうしない。これからはウェブを活用する」という社長の考えにも胸を打たれた。お客様のニーズに合わないものを無理に売る必要はない。その方針に、探し求めていた理想の営業像を見出したのだ。

未経験からの スタートを支える、 温かい仲間 の存在

物流業界は全くの未経験。そのため、入社後は専門用語や在庫管理システム「WMS」など、覚えることの多さに圧倒される日々だった。しかし、その不安を拭い去ったのは周りの仲間たちだ。

「本当に皆さん、明るくて親切な方ばかりです」。

先輩をはじめ、現場スタッフまで誰もが親身に支えてくれた。質問しやすい温かい雰囲気と、的確な指示で導い

てくれる先輩の姿は、いつしか藪田にとっての明確な目標となる。「この人たちのようになりたい」。その思いが、前へ進む原動力になっている。

初めて掴んだ 確かな手応え

入社後は先輩のサポートとして商談に同席する日々が続いたが、2025年8月、初めてウェブ商談の司会進行を任される機会が訪れた。しかし藪田は冒頭から、画面の向こうのお客様の前に、緊張で頭が真っ白になってしまふ。準備した言葉は思うように出ず、ときには先輩のフォローに助けられる場面もあった。自身の未熟さに歯がゆさを感じながらも、必死でお客様の話に耳を傾け、サービスの魅力を伝えようと努めた。

商談を終えた心には、悔しさと安堵が入り混じる。しかし後日、お客様から伝えられたのは予想外の言葉だった。「他社より少し金額は高かった。でも、あなたの対応が良かったので決めました」。

その一言が、胸に深く染み渡った。以前のように「お願い」して売るのはない。自分の対応と会社の姿勢、そのものが評価されたのだ。それは藪田が長年追求めてきた営業の姿であり、心からの「ありがとう」の重みを実感できる、忘れられない出来事となった。

頼られる存在へ、 感謝を胸に未来を描く

「まずはお客様の話を聞くこと。それを一番大切にしています」。自身の強みである傾聴力を磨きつつ、今は専門知識とシステムの習得に全力を注ぐ。お客様のあらゆる「困った」に的確な提案で応えることが当面の目標だ。

社長から「人も増やしていきたい」と聞き、新たな決意も生まれた。いつか後輩ができたとき、自分がしてもらったように、温かく導ける存在になりたい。葛藤の日々があったからこそ見つけられたこの場所で、仲間への感謝を胸に、これからも自分らしい営業の道を、まっすぐに歩んでいく。

\\ 次号もお楽しみに! //

次号予告 vol.64

43期 社長方針

Staff award



温かい仲間を支えられ新たな一歩を踏み出した藪田。そのひたむきな挑戦は、これからも多くの仲間とお客様に、確かな希望を届けていくに違いない。

聞いて!! 私たちの センター自慢

2025年9月に新たなセンターが加わり、ますます広がる物研ネットワーク！今回はあゆみ野EC物流センターから、長江さんと片上さんが登場です。きれいで快適なだけじゃない、活気あふれる職場の魅力をお届けします！

▶「モノ」にまつわる自慢！ 一度は見に来てほしい清潔さ

稼働してから約1年が経つ、あゆみ野EC物流センター。立地が良く、建物・設備は大変きれいな状態です。女性にとって非常に嬉しいのは、お手洗いが美しく清潔感があるところ。休憩室や食堂もきれいでとても魅力的です。皆さま、一度見学に来ていただきたいと思います。

▶「ヒト」にまつわる自慢！ 親切的な仲間と交わす泉州弁

親切的で、仕事をよく理解している方が多いところが自慢です。不明点があれば、わかりやすく教えてくれます。泉州弁が飛び交う活気のある職場です。

あゆみ野EC物流センター
ながえ せつこ

長江 節子 さん



センターならではの「あるある！」

休憩室でのほっと一息

私がたまに残業をする際は、休憩室や食堂で皆さんのプライベートトークを聞けるのがとても楽しい時間です。



あゆみ野EC物流センター
かたがみ むつみ

片上 睦美 さん

▶「モノ」にまつわる自慢！ 充実の職場環境と好立地

休憩室が広くて快適です。電子レンジやお手洗いはもちろん、小さな売店もあり、冷凍食品やカップ麺、飲みものやお菓子、アイスも手に入ります。隣には、シャワー室やコインランドリーも完備。仕事帰りには、ららぽーとやコストコに寄れるのも魅力の一つです！

センターならではの「あるある！」

思い思いの休憩スタイル

小さな休憩室で休む人もいれば、階段に座って過ごす人もいます。当センターの廊下も快適です。仕事のことや晩ごはんの話、飼っている犬・猫の話などをしながら休憩しています。

▶「ヒト」にまつわる自慢！ とにかく皆が明るい！

年齢に関係なく皆の仲が良く、仕事のことを聞いたり、助けていただいたりするため不安を感じることなく、楽しく働くことができます。

私たちの心を動かす！ おすすめ映画

映画の数だけ、人生を彩る物語があります。今回は、和泉EC物流センターの奥野さんと西川さんに、お気に入りの映画について伺いました。色彩豊かな映像美から、感動の人間ドラマまで、お二人が見つけた「心の一本」をぜひご覧ください。

『今夜、ロマンス劇場で』



好きになったきっかけは、主演の坂口健太郎さんが可愛かったのと、綾瀬はるかさんがまぶしくて映像の美しさに魅了されてしまったからです。テレビ放映で何度も観るほどに魅了されました！

おすすめポイント

色彩の美しさに魅了される
何度も見たい名作

モノクロの世界がカラフルな世界に変わっていく中で「色のある世界がこんなにも美しい」と、気づかせてもらった映画です。

とっておきの台詞

「今日からお前は私のしもべだ！」

主演の綾瀬はるかさんが坂口健太郎さんに言うセリフです。こんな強気なセリフは、私には一生使う機会がありません(笑)。

こんな方におすすめ

映画の色彩と映像美が特徴的で、「ラブストーリーがお好きな方」におすすめします。

『ジュラシック・ワールド』

恐竜はあまり好きではないのですが、主人公の男性がかっこよく、内容もおもしろかったため、観るようになりました。

おすすめポイント

人間模様を感じさせてくれる
印象的なやり取り

主人公が育ててあげた恐竜・ブルーとの絆。人間模様が魅力です。

とっておきの台詞

「自然界に行けー！」

自分のところに残るか、自然界に戻るかブルーが迷っているときに合図する場面です。主人公もブルーとの別れを望んでおらず、お互いに離れたいわけではありません。ブルーも合図されてもすぐには走って行かず、しばらくしてから去っていきます。

こんな方におすすめ

生き物を育てて、手放していく「涙と感動のストーリー」を味わいたい方におすすめです！



和泉EC物流センター
にしかわ えみ
西川 栄美 さん